

科目名	WindowsServer実習								年度	2025
英語科目名	Windows Server Training								学期	後期
学科・学年	ITスペシャリスト科 ネットワーク・クラウド専攻 2年次		必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	田嶋		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		
【科目の目的】										
本科目は、Windows Server 2022の基本設定から管理運用までを実践的に学ぶことを目的としています。サーバー管理の基礎からスタートし、ユーザー管理、アクセス許可、ファイル共有、ネットワーク設定、リモート管理、仮想化、インターネットサービスの構築まで、実務に即したスキルを段階的に習得します。										
【科目の概要】										
本科目では、Windows Server 2022の基礎から管理・運用までを実践的に学び、ITインフラの構築や管理に必要な知識とスキルを習得します。授業は、サーバーのインストールと初期設定、ユーザー管理やアクセス制御、ネットワーク設定、リモート操作、仮想化技術など、サーバー管理における重要なトピックを段階的に習得する構成です。また、Active Directoryによるドメイン管理やHyper-Vの仮想化機能も取り入れ、企業での実務に即した内容を学びます。										
【到達目標】										
この授業を通して、学生は以下の能力を養います。										
A. Windows Serverのセットアップと初期構成 B. 管理ツールとサーバー管理の基本 C. セキュリティを意識したネットワーク管理 D. 仮想化技術とActive Directoryの基礎 E. 総合的なサーバー運用の理解										
【授業の注意点】										
ノートパソコンと教科書を忘れず準備すること。公欠などで欠席した場合、授業で進んだ箇所を確認し、次の授業までに設定を行っておくこと。総授業時間の4分の3以上の出席がない場合、定期試験を受けることができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	操作手順を完全に理解し、ミスなく実行できる	基本操作を安定して行えるが、少し確認が必要	指導を受ければ基本操作ができる	操作手順に不安があり、確認が多い	操作の理解が不足し、指導を受けても困難					
到達目標 B	適切なユーザー管理ができ、柔軟に対応可能	基本的なユーザー管理をほぼ正確に行える	指導があればユーザー管理ができる	管理手順に不安があり、確認が必要	管理手順の理解が不足し、対応が難しい					
到達目標 C	設定とトラブル対応を適切に行える	基本設定と運用が問題なくできる	指導があれば設定できるが不安がある	設定に不安があり、試行錯誤が多い	設定手順を理解できておらず、対応が困難					
到達目標 D	仮想環境を効率的に構築・運用できる	仮想化の基礎を理解し、基本的な管理ができる	指導があれば基本設定ができる	設定理解が浅く、試行が多い	仮想化の操作が難しく、理解が不足					
到達目標 E	迅速に問題を把握し、自力で解決できる	基本的な解決方法をほぼ独力で実行できる	指導があれば問題解決ができる	対応に時間がかかり、手順に不安がある	解決手順の理解が不足し、対処が困難					
【教科書】										
ひと目でわかる Windows Server 2022										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
定期試験と課題、理解度確認の小テストを行い、総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

